

# 第70回 上海博楚簡研究会のご案内

※ 本研究会は、平成26年度JSPS科研費 26284010助成「Multi Disciplinary Approachによる新出土資料の総合的研究」（平成26年度科学研究費補助金（基盤研究（B））「出土資料と漢字文化研究会」との共催です

## 『繫年』 第2章～第4章を読む

発表者：小寺敦准教授（東京大学）

李学勤主編『清華大学蔵戦国竹簡』（中西書局、定価900元）の第2冊が2011年12月に出版されました。以来同書に収録された竹簡の内容は、古代中国の哲学・歴史・語学文学など、関係する分野を問わず、多くの研究者から注目を集めています。今回は同書所収の『繫年』のうち第2章から第4章を取り上げ、研究会を行うこととなりました。

さて、『繫年』は全23章・全138枚の竹簡からなり、第1号簡から第137号簡にはその背面全てに篇号が記されていて、第138号簡の背面には番号が記されていません。整理者によれば、篇題は元々無く、簡文の中に紀年に関する記載が多く見られ、文字の体例と内容が『竹書紀年』に近似していることから『繫年』と付けられました。その内容は西周王室の事蹟や春秋から戦国前期までの各国の歴史を記しているとのこと。その多くは伝世文献の不足を補い、『尚書』・『春秋』経伝・『国語』・『史記』と異同があります。また、伝世文献で有名な説話がある一方で、そこに見えない記事もあります。これは、先秦文献について研究する上での貴重な資料と申せましょう。

第70回目を迎えた今回の研究会は、小寺敦准教授（東京大学）が担当し、最新の情報を盛り込んだ『繫年』第2章から第4章の訳注を発表いたします。つきましてはご多忙中恐れ入りますが、下記の要領で開催いたしますので、ご関心をお持ちの方々多数お誘い合わせの上、是非ご参加下さい。

日時：2014年11月29日（土）午後2時～午後5時

場所：東京大学東洋文化研究所4階東アジア第一部門室（405）

- 使用言語 日本語
- 参加費 無料
- 『清華大学蔵戦国竹簡』（貳）の写真図版や釈文のコピーなどは、各自ご用意下さい。

連絡先：〒176-0025 東京都練馬区中村南1-12-5  
東京大学名誉教授 山東大学教授 池田知久  
電話：03-3926-8568